

学校教育に携わる皆様へ



NAGANO
SDGs PROJECT

未来について考え、 行動する機会を 子どもたちに。

「総合的な学習の時間」「児童会・生徒会」にSDGs教育の導入を

SDGsのゴールは2030年。

そのころ、子ども達は大人になっています。

彼らが生きるのは、希望あふれる世の中でしょうか。悩み多き世の中でしょうか。

未来は変わります。学び、考え、そして行動すれば。

自分たちのために、次の世代のために、一緒にここから世界を変えてみませんか。



持続可能な開発目標(SDGs)とは

持続可能な世界を実現するため17のゴール・169のターゲットから構成される国際目標。2015年9月に国連のサミットで採択され、2030年までの達成を目指すものです。



NAGANO SDGs PROJECTとは

NAGANO SDGs PROJECTは、長野県・信濃毎日新聞社など産学民官が一体になってSDGsを広め推進していくため、企業の支援を受け、2019年5月にスタートしました。(協力:長野県教育委員会)
SDGsについて「知ってもらう」「学び・考え・行動してもらう」ことを基軸に置いた活動を展開し、「SDGsを踏まえて考え・行動することのできる人材」を育てることを目標とします。

昨年も多くの先生方・生徒さんに当プロジェクトに参加いただきました。

全てのコンテンツを無料で提供しております。是非、ご参加・ご利用ください！



長野SDGsプロジェクト実行委員会

- 構成団体 長野県、(一社)長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、(一社)長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、(一社)長野県環境保全協会、信濃毎日新聞社
- 協力 長野県教育委員会、国立長野工業高等専門学校、(公社)日本青年会議所 長野ブロック協議会
- 企画/制作/運営 (株)ながのアド・ビューロ
- 事務局:信濃毎日新聞社 広告局内 E-mail:info@naganosdgs.jp

教育現場にSDGs教育を導入いただくために、 様々なプログラムをご用意しました。

全て
無料!!

※全てのイベント・セミナーは、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、実施の有無含め、変更になることがあります。
最新の情報は公式WEBサイトでご案内いたします。

SDGsの専門家が、学校に出向きます！

出前授業

様々な企業・団体と連携し、
長野県内の延べ**5,512**名の
子ども達に「**出前授業**」を
お届けすることができました。

**今年度も授業を
無料でお届けします！**



募集開始
2022年4月

授業内容（抜粋）

- 未来と向き合うSDGs ～この気づきは探求心を刺激する～ ほか(ラマ色コラボ)
- 持続可能な世界を実感! Get the Point(ゲット・ザ・ポイント)(まごねこ)
- SDG5とジェンダー平等について理解を深めよう! (プラン・インターナショナル・ジャパン)
- SDGsを理解し、「自分ゴト化」し、アクションにつなげよう ほか(セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン)
- JICA国際協力出前講座(JICA東京 長野デスク)
- 長野発SDGs実現のためのアクションを起こしているNPO紹介 ほか(長野県NPOセンター)
- 烏川溪谷の自然体験を通してSDGsを学ぼう! (長野県烏川溪谷緑地 環境管理事務所)
- 新聞から身近な課題を見つけ、将来を展望しよう(信濃毎日新聞社)

当プロジェクトに協賛いただいている企業様でも実際の事業に基づいたSDGsへの取り組みや活動を実施されていて、
よりリアルで現在進行形のSDGs学習が可能です。
生活協同組合コープながの/積水ハウス/スマイルネットワークなどその他、協賛社様からコーディネートすることも可能です。

※授業内容が変更することがあります。詳しくは、公式WEBサイトをご覧ください。

授業を受けた生徒さん達の声

- 地球の問題は、私たちが行動すれば解決できるものなのかもしれないと思いました。
- 世界のプロジェクトという大きな感じがしてしまいましたが、身近にできることも多くあるので、意識して生活をしていきたいと感じました。
- 自分のすることはちっぽけなことだと思いがちだけど、必ず世界の人の何かの役に立っているんだということを念頭において活動していきたいと思いました。
- SDGsについて考えることは、自分の生活を見直すことにも繋がるし、一人ひとりの意識が世界全体の意識向上に繋がるということを実感しました。
- 人間だけの地球じゃないので、小さなことから意識して生活していきたいなと思いました。
- ジェンダー平等は必須というか「義務」だと思います。女性の地位向上に携わってみたいです。
- 町にずっと住み続けたいくなるように町が行う活動などに積極的に参加し、キレイな住みやすい町を作れるようにしたいと思いました。
- SDGsは、今の自分達のためでもあるけど、一番は、「後に来る人」のためだということが分かりました。
- 皆で話し合っていて考えていくことで、問題の解決策が見えてきて、互いに気を付け合うことができるので、そういう時間や機会は、大切にしたいと思いました。
- 何かやっても何も変わらない気がしてたけど、一つの取り組みで、あることが良くなる気がしました。
- 真剣にSDGsについて取り組んで、誰かが助かる事ができるはずと自信ができました。

学校、クラスなどでSDGsに取り組むためのプログラムです

みんなのSDGs宣言

身近な社会や生活に関わる課題を拾い出し、解決するための方法をクラス・生徒会・グループ等で話し合い、さらにそれらを解決するため「みんなのSDGs宣言」をしていただき、課題解決に向けた活動をしていただくプログラムです。是非、総合学習の授業や児童会・生徒会に組み込んではいかがでしょうか？

今まで378の宣言があがり、皆さんに活動報告をあげてもらいました！公式WEBサイトをご覧ください。

皆さんの宣言・活動報告は公式WEBサイトや新聞等でご紹介をさせていただきます。

宣言募集期間：2022年4月～11月末

活動報告締切：2023年2月末

皆さんから寄せられた宣言と活動報告の一例です！

安曇野市立豊科南小学校 6年2組

宣言

紙は燃料ではない
(SDGsこんぶ)



“エコ時代”
～生き物と環境を大切～
(エコなおかか)



<活動内容(抜粋)>

5つのグループに分かれて、それぞれテーマを決め活動をしました。チームSDGsこんぶは、調査を通して、はがきは10枚で約400円相当になり、途上国の子ども達へのワクチン輸送費として利用され、20人の子どもの命を助けることができるということを知りました。各クラスにチラシを配り、はがきの回収を呼びかけ、その結果、614枚の書き損じはがきを集めることが出来ました。そして、チームエコなおかかは、カイロが水をキレイにする物にリサイクルできるということを知り、全校に回収を呼びかけ、全校のみんなが協力してくれたおかげで、2,000個以上のカイロを集めることができました。

<活動を通して学んだ・感じたこと(抜粋)>

みんなで協力することによって、たくさんのはがきを集められ、1人ひとりが世界で困っている子ども達のことを考えて、寄付してくれたことはとても素晴らしいことだと思いました。これからも寄付活動には積極的に取り組むようにしたいです。(チームSDGsこんぶ)
身近な物をリサイクルして、もっとキレイな水を作りたいと思いました。(チームエコなおかか)

長野県下高井農林高校 地域資源活用コース パンブーキャンドル班

宣言

竹で山林や里山を守る！



<活動内容(抜粋)>

山林や里山の増えすぎた竹は、従来は伐採・焼却されることが多いですが、資源として有効に活用できないかと検討し、パンブーキャンドルを製造・販売することにしました。竹の伐採から全て自分達で制作をし、道の駅ファームス木島平で開催された「農林市」(本校生徒が生産・製造した商品の販売会)で販売をしました。その取り組みが各種メディアに取り上げられ、(公財)日本のあかり博物館から出品販売依頼が届き、現在も展示販売してもらっています。生態系を乱す増えすぎた竹の活用について、「伐採」「製品作り」「販売」という、この地域には今までなかったモデルケースを構築できました。

<活動を通して学んだ・感じたこと(抜粋)>

生態系を乱す竹林が身近にあることを知り、消費者のニーズに応じた製品を製造することの大変さを学びました。購入いただけるか半信半疑でしたが、無事完売し、嬉しく感じるとともに、今後の活動の展開に向けて大きな自信にもなりました。また、商品に対する一定の需要があることを知り、このプロジェクトが発展する可能性を実感しました。

東御市立祢津小学校 児童会・6年

宣言

輪・和・笑(あいさつの輪、仲よしの和、笑顔の笑(わ))



<活動内容(抜粋)>

祢津小学校では、6年生がふるさと学習や児童会を中心にSDGs達成に向けての活動を実施しました。6年のふるさと学習では、「ゴミ拾い登校」を実施し、この活動を市内の他の小学校にも呼びかけ、市内4校で「ゴミ拾い登校」を同時開催することができました。児童会では、代表委員会がSDGsの説明を全校にし、それぞれの委員会のできることを考え、全校に発表しました。代表委員会では、意図的にあいさつをする機会を設けるために「あいさつビンゴ」の実施、何でも意見BOXの設置、学級単位で友だちの良いところをカードに書き、全校へ放送での呼びかけをする仲よし旬間「仲よしの木」、カードを昇降口に貼り出す「スマイル列車」を実施しました。

<活動を通して学んだ・感じたこと(抜粋)>

児童会目標「輪・和・笑」を実現するために、様々な企画を考えました。特にあいさつビンゴをしてからは、廊下ですれ違った人にあいさつをする人が増え、あいさつの声が多く聞かれるようになりました。SDGsの目標に関連する項目を示したことで、多くの人に協力してもらえました。(代表委員会)
昨年度からスタートしたゴミ拾い登校。同じ時間に市内4校の仲間が頑張っていると思うと、より一層意識が高まっていた様子でした。オンラインで報告会をすることで、お互いの活動の様子や顔が見えることも良かったです。活動を見た地域の方の朝ゴミを拾う姿があったり、市報に取り上げてもらったりと、自分たちの活動が、地域の方を動かす影響を与えることができた子ども達はとても喜んでいました。

長野県上田染谷丘高校 学友会

宣言

脱ペットボトルwithマイボトル



<活動内容(抜粋)>

ペットボトルを削減する大切さやマイボトルの推奨を放送で呼び掛けたり、校内の様々な箇所にポスターを掲示しました。その結果、ほとんどの生徒がマイボトルを学校に持参し、「今日マイボトル持ってきた？」という言葉が会話の中から時々聞こえるようになりました。1・2年生限定で調査したところ、64%の生徒がマイボトルを持っていました。今回の「脱ペットボトルwithマイボトル」というSDGs企画を行うことで、全校生徒のSDGsに対する意識を高めることができました。

<活動を通して学んだ・感じたこと(抜粋)>

全校生徒がマイボトルに対する意識を高めることで、ペットボトルを買う人が以前よりも見かけなくなり、企画としてマイボトル持参を習慣づけることで少しでもペットボトル削減につながる事が分かりました。また、企画を通してみんなのSDGsに対する意識が高まっていることが感じられました。

子どもたちから大人(企業・地域など)への提言を募集します!

Innovation from Teenagers ～10代からの提言～

県内の児童・生徒の皆さんから、大人たちや企業・自治体などに向け、SDGs達成のために「もっとこんなことをしたらどうか」といった提案をぶつけていただく取り組みです。

2020-21シーズンには、277もの提言をいただきました。

2021-22シーズンは、テーマを決め、それに対して提言を募集します。

いただいた提言はNAGANO SDGs PROJECTの公式WEBサイトでご紹介するほか、新聞特集でのご紹介を予定しています。

さらに、今年度も企業や自治体のご担当者を招き、直接プレゼンテーションしていただく場を設けることも検討しております。

大人たち、企業・自治体に向け、10代からの意見をめいっぱいぶつけてください!

私たちは、それを大人たちへ伝えるお手伝いを精一杯いたします。

公式WEBサイトより2020-21シーズンの提言をご覧ください。

テーマの公開・募集開始:2022年5月予定

※詳しくは、公式WEBサイトをご覧ください。



授業や課題制作に取り入れてはいかがでしょう

みんなで作ろう! SDGsポスター

今年も「SDGsポスター」を募集します!
2020-21シーズンは、「2030年が素晴らしい世界であるために、私たちにできること」をテーマに170ものご応募をいただきました。
未来を想う気持ちをポスターで表現してみませんか?

募集期間:2022年5月～9月末

※デジタルのみでの受付となります。



各学校でもSDGs関連の活動・イベントに取り組みませんか？

9月
開催



9月をSDGsの集中啓発に取り組む月として「NAGANO SDGs WEEKs」と定め、県内の企業・学校・団体など、皆さんにSDGsに関連したイベントや取り組みを実施いただけるよう呼び掛けています。文化祭でSDGsを広める企画をするなど、この期間に実施予定の学校でのSDGsに関連する活動を是非、お知らせください！新聞や公式WEBサイトなどで告知をいたします。

ご連絡・お問い合わせ: info@naganosdgs.jp



今年もバラエティに富んだ公開講座・イベントを計画中です！

公開講座・イベント

毎年、沢山の方にご参加いただいております**公開講座・イベント**を今年度もいろいろな分野、切り口で実施すべく計画中です。決定次第、公式WEBサイト、新聞やメルマガでご案内しますので、楽しみにお待ちください！



第一弾！

ミャンマー料理を通して、 世界の人権・平和についてみんなで考えよう！

日本は幸い80年弱戦争を(経験)していません。しかし、世界では今でもテロ事件や戦争が起きています。このことは本当に私たちに関係のないことでしょうか？同じ地球に住んでいる仲間にも起きていることです。すぐに解決することは難しいかもしれませんが、そういった理不尽なことで苦しんでいる人々の存在を知り、想い、考えることはすぐにできるのではないのでしょうか？まずは、ミャンマー料理体験を入りに、ミャンマーだけでなく、世界の人権・平和について一緒に考えてみませんか？

小学校高学年のお子さんにもご理解いただける内容で進めますので、ぜひお子さん・お孫さん・生徒さんと一緒にご参加ください。また、お子さんと一緒になくても、子どもたちへ伝えたい大人の方・世界の状況に関心のある方など、広くご参加いただけます。



参加費
無料

日程: 2022年**4月23日**(土) 11:00~13:00

定員: 20組 形式: オンラインワークショップ(料理含む) ※食材はご自身でご用意ください。

詳しくは、公式WEBサイトをご覧ください。 https://www.naganosdgs.jp/learn/open_lecture

※定員に達し次第締め切りですので、もし定員に達しておりましたら、ご容赦ください。

教材をダウンロードして使おう！

SDGsを学校に取り入れたいけど、何から行えばいいの？そんな先生方に向けてSDGsを題材とした教材をご用意しました。公式WEBサイトより**無料でダウンロード**できます。授業に活動に、ぜひ、取り入れて活用ください！

メルマガ登録募集！

当プロジェクトの最新情報や国内外のSDGs関連情報を定期的にお届けしています。ぜひ、ご登録ください！

詳しい情報は公式WEBサイトをご覧ください！

長野SDGsプロジェクト

検索